


Case : 350


移乗の際に、ベッド用グリップに近づきすぎ後方へ転倒しそうになる

場面の説明

移乗時の立位保持の位置がグリップに近すぎ、支持基底面が狭くなり、後方重心になったため後方へ転倒しそうになった。



利用シーン  移乗

主な利用場所  寝室

介護保険の種目  特殊寝台付属品

分類コード(CCTA95) 181227(ベッド用サイドレール, ベッド固定式起き上がり手すり)

介護テクノロジー -

二次元バーコード



解説

立位機能の低下した要介護者の場合、グリップとの位置関係で、支持基底面の広さが変わり、立位の安定性が変化します。移乗先のポータブルトイレや車いすの位置が近すぎると、両足の間隔が狭くなったり、グリップ寄りになり、不安定になりやすいです。適切な移乗空間を確保できるよう、車いすやポータブルトイレを置く位置は、介護者がわかりやすいようにマーキングしておきましょう。

参考要因

- 人：立位機能が低下していた
- 人：グリップに接近しすぎて支持基底面が狭くなった
- モノ：移乗先の車いすやポータブルトイレの位置が前方すぎた
- 環境：移乗時の足元スペースがせまくなっていた
- 管理：マーキングできていなかった